

ヤギ 小春の話



生後 11 日目

母の温もりを知らないヤギ
ヤギの乳を飲まなかったヤギ
妹を亡くしたヤギ
人間に育てられたヤギ

松本 博之

私は、父メー、母フクにより 2016 年 5 月 6 日に岡山いこいの村で双子で生まれたヤギの女の子です。

お母さんは、生まれて濡れている私達をなめてくれないし、お乳もくれませんでした。

一緒に生まれたヤギは、冷たくなって死にました。

母の温もりを知らない、ヤギの乳を飲まなかった、妹を亡くして、人間に育てられたヤギの話です。

生まれたとき

お母さんのお腹の中から出てきたときは、夜で、体は濡れて冷たくてとても寒かったのですが、お母さんは舐めて温かくしてくれませんでした。寒くて、寒くて、気が遠くなっていました。いこいの村の人と獣医さんが来てくれて「双子だな。この子は死んでいる。この子は息をしている。」と言って、私の後足を持って上にあげたり、鼻に息を吹きかけたり、タオルで体を拭いてマッサージをしてくれました。

もう一人の子は、死んでいるようで、お母さんのお腹の中で一緒に頑張っていたのに可哀そうで、とても悲しかったです。

私は 20 分くらいで、頑張って、頑張って立ったのですが、お母さんは、お乳を飲ませてくれないし、出してもくれません。

私はタオルに包まれて獣医さんの家に行き、注射器で、牛のミルクを 2 時間に 1 回もらいました。最初は、上手に飲めなかったのですが、温かいミルクで大変おいしかったです。

お母さんのお腹の中にいたときのウンチが、なかなか出ないので、薬を飲ませてくれたり、お尻を優しくなでたりしてくれました。ウンチが出たときは、ネバネバで毛や足に付いてなかなか取れないので、トイレットペーパーやタオルで拭いてくれました。

次の日、お母さんに会いに行ってヨチヨチ歩きでお乳を飲みに行くと、鼻でつつかれ、足で蹴られて飲ませてくれません。とても悲しかったです。人間の哺乳ビンで、牛のミルクを飲むようになりました。



お腹がすいたよ！ ミルクちょうだい！



生後 13 日目
タオルで母の温もりを感じている



生後 11 日目



生後 18 日目



草も少し食べられるようになり、車に乗って出かけたり、草の多い所に散歩に行くようになりました。一生懸命走ったり、高い石の上にジャンプしたり、楽しい毎日です。

いろんな草があって、やわらかい草を食べると美味しかったので、いっぱい食べるようになりました。ウンチも丸いコロコロになりました。

ヤギのお乳は飲めなかったのですが、牛のミルクで元気に1か月が過ぎました。



角が生えてきたよ



生まれたところで

獣医さんが旅行に行くので、私はいこいの村に帰ることになりました。淋しくて、淋しくて、毎日メーメー鳴きましたが、死んだ妹ヤギの分まで、頑張っって強くなろうと決めました。

いこいの村の人達もエサをくれたり、ミルクをくれたり、散歩に行ったり、朝キャベツや少しのパンをくれるおばちゃんがいったり、親切に良くお世話をしてくれます。

いこいの村に帰る2日前に、双子のあかちゃんが生まれていました。お母さんと一緒に散歩したり、お乳を飲ませてもらったりしているのを見ると、お母さんっていいなと思いました。私には、いこいの村の皆さんや獣医さんの家族がいるので、頑張っっていっぱい食べて大きくなります。

2週間たっって獣医さんが来てくれました。ミルクもおやつもくれて、嬉しかったです。後をついて散歩するのも久しぶりでとても嬉しかったです。草もたくさん食べるようになり、口をモグモグして反芻ができるようになったのを見てもらったら、頭や体を撫でられて嬉しかったです。

みんなとの生活

生まれてから2ヶ月後、大人ヤギ4匹と子ヤギ4匹の小屋に入りました。大人ヤギも子ヤギも前からいたので強くて、頭で突いて意地悪をし、エサを食べさせてくれません。みんなが食べたあとは、草の粉と、硬い草しか残っていません。

お腹いっぱい食べられなくなり、ウンチは柔らかくなって元気もなくなり、すみっこで倒れてしまいました。

いこいの村のお兄さんが見つけてくれて、獣医さんが来て私の好きなミルクをくれましたが、飲む元気もありません。獣医さんの家に行き、注射をしてもらいました。痛かったのですが、ミルクを飲んで、草も少しずつ食べられるようになりました。獣医さんや家族の人が、涼しいテレビの部屋に入れてくれて草を短く切ってくれたり、元気になるエサをくれたり、いやで残した草を無理やり口に入れられて食べさせられたりしました。ウンチもまるいコロコロになり、山やいこいの村に連れて行ってもらっって、草をいっぱい食べました。

今は、獣医さんが見えないと淋しくて、メーメーと鳴きます。鳴いていると、怒られてションボリします。

いこいの村に行くと、お父さんやお母さん、そして、おじいさんやおばさんと遊びに来ている家族がいて、みんな楽しくて家族っていいな、と思います。

私の所にお客さんが来て、好きなキャベツをたくさんくれるので、嬉しくていっぱい食べます。

私には心配なことがあります。獣医さんが、ほかのヤギと仲良くできるか心配しているのです。

今は私だけなので、朝と夕方に車で山の草をたくさん食べに行ったり、朝と夕方に小屋の掃除をしてくれているとき、庭で自由に遊んでいますが、みんなと一緒にになったら、また苛められたり、草が食べられなくなって病気になったら大変、と心配しているのです。

私をもう少し獣医さんの家にいさせてください。好きなエサも嫌いなエサも、いっぱい、いっぱい食べて、元気になって、強くなって、大きくなって、いこいの村に帰ります。そして、みんなに負けないで、仲良くしていきます。



草をいっぱい、いっぱい食べています

獣医さんの家での生活

いこいの村のみなさんが話しをして、私が大人になるまで獣医さんの家にいることに決まり、大変嬉しかったです。

8月は暑くて、暑くて、外に行くのも嫌でしたが、朝早くと夕方の涼しいときに、山やいこいの村に連れて行ってくれ、草をいっぱい食べました。いこいの村では、ヤギの勇氣君、元気君とかけっこをしたり、頭をゴツンしたり、高い石の上のにのぼって遊びました。

今日は、山陽町の小坂のおじさんの所でモモをもらって、皮も全部食べました。甘くて、汁が多くて、大変美味しかったです。



モモは美味しかったです



獣医さんは、私と西大寺の光本さんの所によく行きます。そこには、白い大きな犬のムク君とミル君がいて、私が行くと、鳴いて、尻尾を振って喜んでくれて、仲良しになりました。

私が草を食べている間に、獣医さんは光本さんとお酒を飲みながらお話をしています。奥さんが迎えに来て帰るときには、獣医さんが抱っこしてくれますが、お酒臭くて嫌でした。お酒を飲んでいないときに抱っこしてほしいです。



光本さんの家の仲良しのムク君↑とミル君↓



獣医さんが旅行に行くときには、岡田のおばちゃんの家で預けられます。おばちゃんの家には、大きな黒い牛がいっぱいいて、モーモーと鳴いて怖かったけれど、大きな目で、「大丈夫だよ」と優しく言ってくれて、大きな口で草をいっぱい食べていました。おばちゃんは、牛さんのいろんなエサをいっぱいくれました。美味しくて、お腹いっぱい食べました。

優しい犬のボクちゃんや猫のニャちゃんもいて、仲良しになって、みんな散歩をしました。



子牛さん

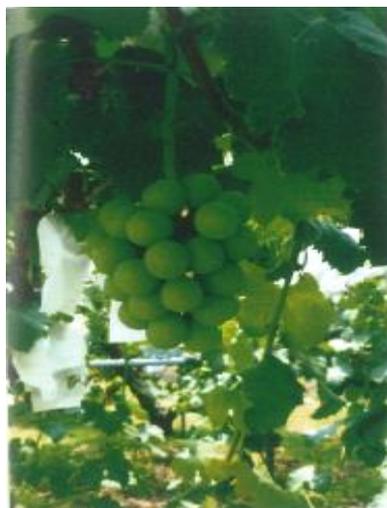


犬のボク君



お母さん牛

9月、生まれて4か月目。山陽町の小坂さんのブドウ園に連れて行ってくれました。ブドウがいっぱいあって、大野さんのおじさんがブドウをくれました。ものすごく美味しかったです。葉っぱもくれて、少しざらざらしていたけれど、いっぱい食べられて嬉しかったです。



獣医さんに「あと2か月で大人になるから勉強しよう」と言われ、おまわり、お手、おかわり、おすわりを習うことにしました。毎日教えてもらっても、なかなか出来なかったのですが、一生懸命頑張ったときは、体を撫でてくれたり、お菓子のご褒美をくれたりしました。

いこいの村のお客さんに見てもらったら、みんな、「すごい、すごい」と言って体を撫でたり、キャベツをくれたりして嬉しかったです。もっとももっと頑張ってお覚悟して、みんなが喜んでくれたら嬉しいです。

いこいの村に優しいおばちゃんがいる、よくサツマイモをくれたり、野菜を持ってきてくれます。声が聞こえると、嬉しくて尻尾をいっぱい振って待っています。

10月、生まれて5か月目。今日は、クリとドングリを初めて食べました。どちらも硬い皮のまま食べると、バリバリして美味しかったので、またたくさん食べたいです。

家の玄関にいたのですが、外での生活に慣れるために、家の外に出ました。夜になると寒くて、淋しくて、怖くてメーメーと鳴いていると、大きな鏡を持ってきてくれて、私が写っているのに、友達がいるようで安心して眠れました。ヤギは、とても淋しがりやで、一人では淋しいのです。

外は寒いので、体にふわふわした毛がいっぱい生えてきて、暖かくなりました。

奥さんが、ときどきタオルに包んで家の中に入れてくれます。膝の上で抱っこして、体を撫でてくれます。すごく気持ちが良いので、口をモグモグしていると、いつのまにか寝てしまいます。

私には角があり、先が尖っていて危ないので、取ることになりました。頭をロープで括られて飼育員さんに押さえられ、獣医さんが機械で切りました。血がいっぱい出て、頭に穴が開いて痛くて、痛くて、いっぱい、いっぱい、メーメー泣きました。

角を取った後、痛くて熱が出て、食欲がなかったのですが、注射をしてくれて元気になりました。



獣医さんの家でゆっくりしていたら、突然グラグラ揺れて、怖くて、怖くてメーメー鳴きました。大変恐ろしかったです。これが地震で、初めての体験でした。



獣医さんのミカン山に行くと、ミカンがいっぱいなっていて、食べたら大変美味しかったです。また食べに行ったとき、ミカンの葉を食べてみると、ミカンよりもものすごく、ものすごく美味しかったので、いっぱい食べていたら、「葉がなくなったらミカンがならない」と言って怒られて、ションボリしました。

ミカン山には、ミカン狩りのお客さんが来て、ミカンをいっぱい持って帰っていきます。私が、お手、おかわり、おすわりをすると、「よく勉強しているね」と言ってみんな喜んで、ミカンや落ちていたミカンの葉をくれます。

11月で私は大人になりました。獣医さんは12月までミカン狩りのお客さんで忙しいのですが、たくさんの草、ミカン、ミカンの葉、ナシ、リンゴでお祝いをしてくれました。ヤギは6か月で大人になります。大人になったので、12月にはいこいの村に帰ることになっていたのですが、みんなと話をし、寒いので春に帰ることになりました。



お正月にいこいの村に行くと、たくさんの家族が来ていて、私の歯を見てもらったり、心臓の音を聞いてもらったりしました。

私の前歯は、下にはありますが、上にはありません。奥の歯は、上下ともありますが、前歯と奥歯の間には上下とも歯がなくて、歯がないところの唇には、食べたものが出ないようにイボが並んでいます。こんな歯をしている動物は、ツメがチョコキになっていて、草を食べ、胃が4つあり、食べたものを口に出してもう一度噛みます。＜反芻動物＞といいます。

男の人が、私の心臓の音を聞いて「速いね」と言うと、獣医さんは、「小春は女の子だから、男の人が聞くとドキドキしたのかな」と冗談ばかり言っています。

また、お手、おかわり、おすわりをすると、おすわりを見てびっくりしていました。

ヤギのおすわりは、前の足から座るのです。犬や猫は後足から寝て、ヤギや牛は前足から寝ます。私は前足をまげて、おすわりです。

お客さんは、初めて口の中を見たり、心臓の音を聞いたり、お手、おかわり、おすわりを見て、喜んで体を撫でてくれたり、キャベツやハクサイをくれました。

朝、小屋のカーテンを開けてくれたら、庭が白くなっていてびっくりしました。

散歩すると、私の足跡のチョコの形がいっぱいできていて楽しかったです。雪を見るのもさわるのも初めてで、少し冷たかったので、体をブルブルしました。

寒かったり、暖かかったり、もう春が近くなっているのかな。

近所の人に「大きくなったね。もう、いこいの村に帰るの。淋しくなるね」と言われ、お別れのときが近くなっているので悲しくなっています。

2017年2月20日

3月4日、大きな小屋を作ってくれました。

自由にできてとても嬉しかったのですが、「いこいの村に帰るときに、小屋も持って行ったら良いよ」と言われたので、お別れのときが近くなっているのかな、と感じてとても淋しいです。





私の家です

アクビがでたの
失礼しました



外の眺めもいいなー

お別れ いこいの村に帰る

3月24日、獣医さんの奥さんがいないときに、いこいの村に帰りました。

夕方、奥さんがキャベツを持って会いに来て、頭と首をなぜなぜしながら「元気で頑張ってるね、頑張ってるね」と言ってくれて、涙がいっぱい出ていました。

私も淋しくて悲しくなるのですが、亡くなった妹の分まで、いこいの村のみなさんやヤギさん、エミューさん、ウサギさん達と仲良く頑張っています。



エミューさん



ウサギさん





勇氣君
(2015年11月11日生まれ)



元気君
(2016年1月11日生まれ)

サクラの花がいっぱい咲き、お客さんがたくさん来て、「小春ちゃん、大きくなったね」と言ってキャベツをいっぱいくれます。

みんながいなくなると、11か月育ててくれた獣医さんの家を思い出して、淋しくなったり悲しくなったりしますが、飼育員さんやキャベツやニンジンを持って来てくれるおばちゃんが、いつも声をかけてくれて、親切にしてくれます。

私は、獣医さんの車の音をよく覚えています。

獣医さんの車の音が聞こえると嬉しくて、メーメーと鳴いていると、飼育員さんが「獣医さんが来ているのか」と言ってくれます。

私は嬉しくて小屋から顔を出して待っていると、頭や顔を撫でてくれます。

4月3日にモミジおばちゃんがオスのあかちゃんを生み、11日には八重おばちゃんが双子の雌雄のあかちゃんを生みました。

八重おばちゃんは、1つ乳が出ないので、獣医さんが雌のあかちゃんを夜の間家に連れて帰って、私と同じように牛用のミルクを飲ませていたようです。



モミジおばちゃんのアカちゃん

あかちゃんが抱っこされて獣医さんの車に乗るのを見ると、いいな一、私もよく乗っていた車で、もう一度獣医さんの家に行って部屋の中には行ったり、抱っこしてもらったり、庭で遊んだり、高い石の上ののぼったりしたいなー。そして、近所のおじちゃん、おばちゃんに大きくなって頑張っていますよと言いたいです。

八重おばちゃんの双子のあかちゃん（4月11日生まれ）

双子の女の子→
（生後3日目）



←お客さんとふれあい
（生後67日目）

双子の男の子→
（生後67日目）
角が大きくなりました



小春にあかちゃん誕生

5月になると、獣医さんに「小春、オッパイが大きくなっているがあかちゃんができるのか」と言われました。嬉しかったです。飼育員さんやおぼちゃんが、「元気な赤ちゃんを生みなさい」と言って、いっぱいエサをくれました。

獣医さんは、私があかちゃんを元気よく育てるか心配で、よくお腹を触って「元気だ、元気だ」と言ってくれます。

6月23日お昼頃、お腹が痛くなり、あかちゃんが生まれるのかと思い、痛いけれど頑張っていると、あかちゃんが生まれました。

あかちゃんが濡れているので、一生懸命舐めて乾かしてあげました。飼育員さんが来て、「よく頑張ったな」と言って頭を撫でて、たくさんのエサとあかちゃんが寝るやわらかい草を敷いてくれました。獣医さんが来て、「良かった、良かった」と言って頭や首を撫でてくれて、嬉しくて、嬉しくて、「頑張ったよ」と言いました。獣医さんが、私のオッパイを搾り、「2つの乳も良い乳だから、いっぱい飲ますんだよ」と言ってくれました。

あかちゃんは、30分くらいで歩くようになり、上手にオッパイを飲んでくれて、ウンチも出て元気です。

私は、ヤギの乳を飲んでいませんが、このあかちゃんにいっぱい、いっぱい飲ませて、いこいの村のみなさんや獣医さんのお友達、家族が私を育ててくれたように、このあかちゃんを元気に育てていきます。

母 小春 2016年5月6日生まれ

あかちゃん 2017年6月23日生まれ 女の子

上手に飲んでいるね
美味しいですか？





何の話をしているの？
秘密！ 内緒話です
(生後6日目)

動物は、話が出来ません。行動、目、耳、尾、鳴き声を見聞きすると何かを訴えていることがあります。

動物を飼うには、最後まで責任を持たなければなりません。

時には、命を恵みとしていただくこともあります。

色々な動物、また、子の小春を通して、命の大切さ、親子の絆、家族の大切さ、友達への思いやりを家族で話してみてください。

頑張っている小春に、一度会いに来て下さい。



心臓の音
聞こえる？



お手



おかわり



おすわり

今も元気で頑張っています



お母さんになりました

岡山いこいの村
岡山県瀬戸内市邑久町虫明大平山 5652-11
TEL 0869-25-0686 FAX 0869-25-2144